

2016年1月1日～2021年12月31日の間に  
川崎医大総合医療センターにおいて膵癌と診断された方及びご家族の方へ

「検診の腹部超音波検査で発見した膵癌の臨床的特徴像」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）	准教授	藤田 穰
研究分担者	川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）	教授	眞部紀明
	川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）	大学院生	武家尾恵美子
	川崎医科大学総合内科学2	教授	河本博文
	川崎医科大学健康管理学	教授	鎌田智有
	川崎医科大学健康管理学	講師	村尾高久
	川崎医科大学総合内科学2	講師	末廣満彦
	川崎医科大学総合外科学	教授	山辻知樹

## 1. 研究の概要

がん検診は、癌の早期発見早期診断を目的に行われる。胃がん検診、大腸がん検診に比べ、膵癌の検診における現状についての報告はほとんどありません。川崎医大総合医療センターで診断された膵癌で検診を契機に診断された膵癌とそれ以外を契機に診断された膵癌の臨床像、臨床経過を比較し、腹部超音波検査の有用性を検討します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2016年1月1日～2021年12月31日間に於ける川崎医大総合医療センターで膵癌と診断した方を対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

### 3) 研究方法

川崎医大総合医療センターで診断された膵癌を集計し、川崎医大総合医療センターで診断された膵癌で検診を契機に診断された膵癌とそれ以外を契機に診断された膵癌の臨床像、臨床経過を比較検討します。

### 4) 使用する情報の種類

カルテ番号、年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、腹部超音波検査所見、CT検査所見、MRI検査所見、上部下部消化管内視鏡検査所見、血液検査所見、治療方法、臨床経過、等

## 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学検査診断学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### < 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院総合医療センター 検査診断学（内視鏡・超音波）

氏名：藤田 穰

電話：086-225-2111 内線48070（平日：9時～17時）

ファックス：086-232-8343

E-mail：minorufu@med.kawasaki-m.ac.jp

## 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。